

NAS との決別、SVM による低コスト高性能なシステムの構築

ここでNASという考えをいったん捨て、改めてシステムの設計を行ったところ、最終的にSVMに軍配が上がりました。これまでNASで問題となっていた、高コスト体質をマルチベンダや、わずか1UのSVMアプライアンスによるリモート管理の実現により、解決しました。市場に流通している安価で信頼性の高い製品を、マルチベンダサポートのSVMなら手軽にチョイスできるため、進化の早いコンピュータ製品を的確な時期に購入できます。

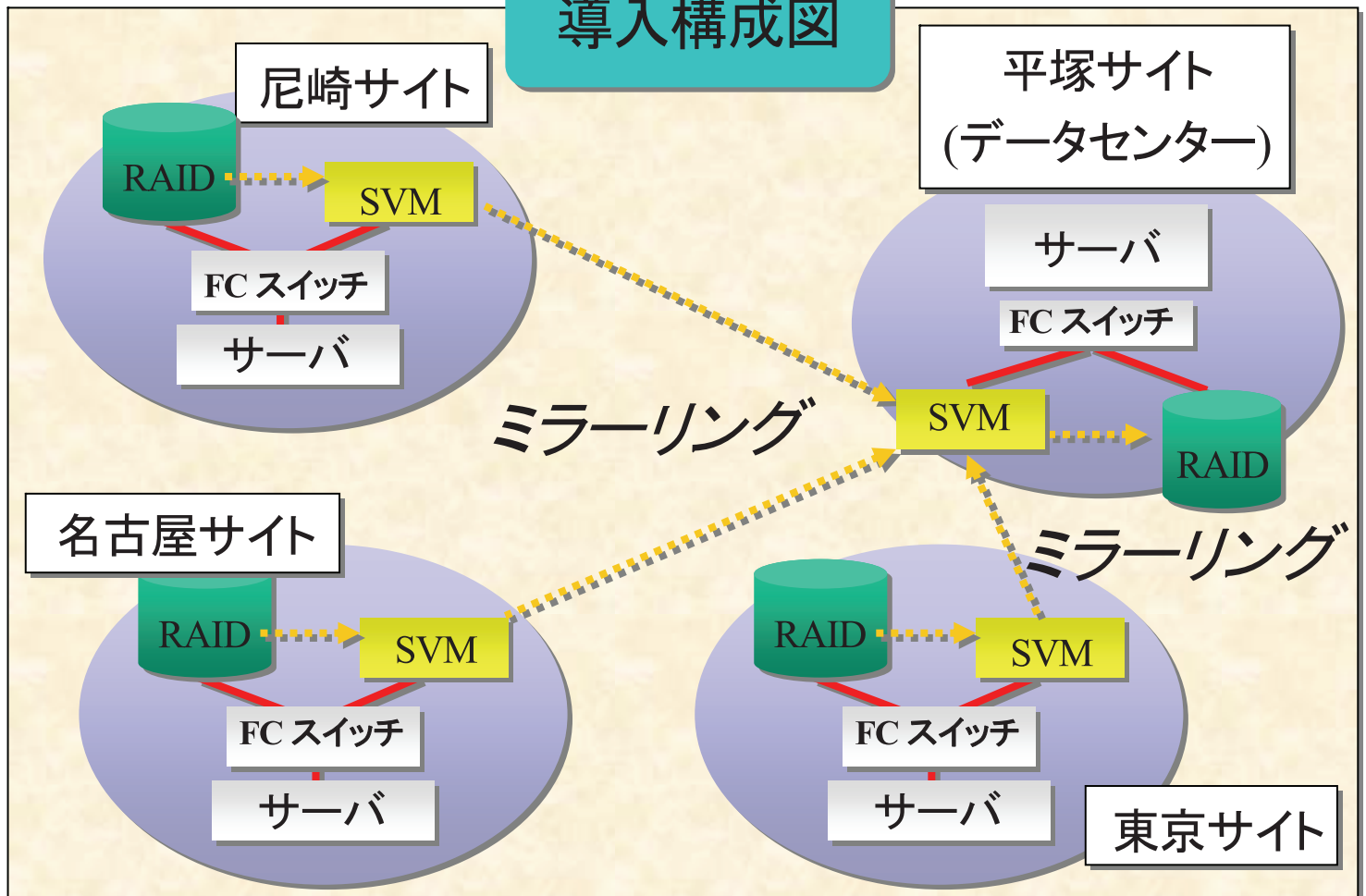
また、災害対策においてもSVMは非常に安価に構築できます。SVMのアプライアンスはギガビットイーサのポートを備えているため、これをLAN(もしくはWAN)に接続するだけです。リモートサイト側にもSVMのアプライアンスを備える必要がありますが、サーバは備える必要はなく、FCスイッチとRAIDさえあれば災害対策サイトは完成です。

マルチベンダのため、FCスイッチ、RAIDは比較的安価な製品で構成することができます。また、SAN(Storage Area Network)はNASと比較しても一体型ではないため、各部に冗長性を持たせることができるので、結果的にシステム全体の稼働率を引き上げます。ブロック単位の転送は安全かつ確実に遠隔サイト・データを送信します。

導入先

関西ペイント株式会社 尼崎事業所 経営企画室
情報システム部 部長 信藤健一様

導入構成図



コンピュータ ダイナミックス株式会社

TEL 03-3366-9741 FAX 03-3366-9800

E-mail compd@computerdyna.co.jp

ホームページ <http://www.computerdyna.com/>

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-21-23



Computer Dynamics Corporation

コンピュータ ダイナミックス株式会社